



世田谷区議会議員(民主党)

風間ゆたか

キッズ&シルバーファースト!



親子と高齢者がゆたかに暮らせる世田谷を!

区政報告レポート

【お問合せ先】 風間ゆたか事務所 世田谷区下馬3-24-19 e-mail:kazama@kazamayutaka.com

TEL & FAX: 03-6914-9053 http://kazamayutaka.com/ 空メール送って携帯メルマガ登録⇒adg@patma.jp

携帯HP



風間ゆたか 区議会議員2年目前半の活動報告!

皆様からのご付託を受け区議会議員になり、1年半が過ぎました。民主党・無所属連合の政調会長(政策面での責任者)として、9月16日から始まった区議会第3回定例会では代表質問(詳細は裏面参照)を致しました。また、地域の皆様と共に活動してきた「130号線拡幅の道路計画見直し」については、2500人以上もの署名が集まり、区が地区計画から外すという成果を得ました。引き続き、役所感覚ではなく、区民の皆様と同じ感覚で区政の改善に取り組んでいます。

主な活動報告

- 2008年
- 4月16日 会派新体制開始(政調会長就任)
 - 4月26日 風間の活動報告会実施
キャロットタワーで行いました
 - 5月13日～5月19日 区議会臨時議会
 - 5月16日 TV番組生出演
BS11石田純一の番組にゲストとして
 - 5月30日 世田谷区スポーツ振興財団評議会出席
 - 6月11日～20日 区議会第2回定例会
 - 6月16日 事務所兼自宅移転
下馬3丁目に引越しました
 - 6月23日 オープンフォーラム企画実施
外郭団体についての会派勉強会を
専門家を招いて公開で実施しました
 - 6月29日 子育ての集い@キャロットタワー
子育て家族が集う情報交換会を実施
 - 7月10日・11日 国内文教常任委員会視察
寝屋川市(小学校のICTと英語教育)
大和郡山市(不登校対策)
 - 7月25日 横浜市会派視察
外郭団体改革とごみ削減の取組
 - 7月28日・29日 区内各団体との意見交換会
 - 7月30日・31日 会派政策集中会議
H21年度予算要望書を会派で策定
 - 8月21日 長岡市(新潟県)個人視察
ICT事業の先進的な取組を視察
 - 9月16日～10月17日 区議会第3回定例会
初日代表質問(内容は裏面に記載)
 - (9月30日～10月14日決算特別委員会)
 - 10月9日 文教領域質問予定
 - 10月14日 補充質疑質問予定



★風間ゆたか プロフィール★

【現在】

- ◆世田谷区議会議員:民主党・無所属連合 政調会長
文教常任委員会 副委員長
- ◆早稲田大学大学院 非常勤講師
- ◆NPO法人国際ボランティア学生協会 理事

【略歴】

- 1973年 東京生まれ(教員と専業主婦の長男として)
- 1995年 早稲田大学政治経済学部政治学科 卒業
- 1995年 株式会社ベネッセコーポレーション 入社
…全国420大学への営業開発を担当。
- 1997年 大学生向け就職支援業の零細企業に転職
…大学生のべ500人の就職指導を行う。
- 2000年 株式会社ウィル・シード 創業期に参画
…メンバー4人でベンチャー企業立上げを経験。
- 2004年 同社 取締役就任(学校教育事業責任者として)
…経済産業省起業家教育促進事業責任者として
全国各地の小中学校にて体感型授業を実践。
- 2006年 同社引退(社員数10倍、売上20倍となり)
- 2007年 世田谷区議会議員(3810票で初当選)

【家族構成】 妻(WEBマーケティング業)

長男(3歳)次男(1歳)ともに保育園児

2008.9.16 区議会第3回定例会 代表質問要旨

●歳入増歳出削減の取組みについて

【テーマ解説】

歳入とは区政におけるお金の入りの部分。税金などが主だが、区の施設利用料や保育料などもこれにあたる。歳出とは経費など出の部分。これに関しては無駄を徹底排除が必要。

【質問&答弁要旨】

- Q1：政府与党が選挙前のばら撒きとして検討している「定額減税」は導入されると区政にどれほどの影響があるのか？
- A1：規模もわからないので算出できないが、平成10年に政府が行った減税では、区税収入が59億円マイナスとなった。
- Q2：歳出削減の為に外部専門機関を活用し、「事業仕分け」の手法を導入し、業務改善に努めるべきと考えるか？
- A2：研究していきたい。
- Q3：歳入増の取組みとして、税金などの徴収率向上の為に外部専門機関をどのように活用するのか？
- A3：電話催告センターを民間委託し、休日夜間の業務拡大により通話件数50%増を目指す。

●指定管理者の公平公正な選定について

【テーマ解説】

指定管理者とは、地方自治法に基づき、地方自治体が期間を定めてその施設管理を行わせるために、議会の議決を経て指定する法人その他の団体のこと。サービス向上などを期待し、公募による外郭団体などから民間への移行するケースが増え始めている。

【質問&答弁要旨】

- Q1：今回の指定管理者の指定については、18件27施設のうち15件24施設が非公募だが、公平公正な選定という観点から、全件公募とすべきだと考えるか？
- A1：原則的には公募としているが、地域貢献等の特別な事業があると認める場合には非公募による選定をおこなっている。
(再質問にて)
- Q2：特別な事情は公募条件にすればよく、より公平性透明性を確保するために次回以降は全件公募にできないか？
- A2：今後については検討していく。

●公共施設整備と福祉施設の充実について

【テーマ解説】

世田谷区における公共施設は老朽化が進んでいるものも多く、順次建替えなどの検討が進められている。福祉施設とは保育園や高齢者向け障害者向け施設など様々だが、世田谷区で新設するとすると土地を確保するのも難しい状況であり、近年地区会館などの建替えには福祉施設との複合化が検討されている。

【質問&答弁要旨】

- Q1：公共施設整備について地域ニーズをどう反映させていくか？
- A1：社会状況や地域ニーズの変化に適応させていきたい。
- Q2：公共施設整備の際に保育園または高齢者施設または障害者福祉施設のいずれかとの複合施設化を検討すべきと考えるか？
- A2：それぞれの施設状況を十分に勘案し、施設の再整備に取り組んでいきたい。

●出張所安全安心拠点化と24時間パトロール見直しについて

【テーマ解説】

世田谷区は27の地区ごとにまちづくり出張所がある。24時間パトロールとは24時間区内を巡回しているに青色ランプをつけた5台の防犯カーを指す。

【質問&答弁要旨】

- Q1：24時間パトロールを継続するならば、効果検証をしっかりと行い、費用対効果をあげていく必要があるのでは？
- A1：定量的な評価は難しい面はあるが、今後とも様々な意見を踏まえ、警察署などの連携を図りながら取り組んでいく。
- Q2：まちづくり出張所に警官OBなどを配置し、地域の安心安全拠点とするのはどうか？
- A2：24時間安全安心パトロールや自主防犯活動団体等と協力し、提案の趣旨が活かせるよう出張所等を役立てていく。
- Q3：24時間パトロールに関しては犯罪認知件数の減少というアウトな効果検証ではなく詳細に分析すべきでは？
- A3：警察の協力なども必要なので難しい。

●専門機関と提携したICT先進自治体について

【テーマ解説】

ICT (Information and Communication Technology) は、「情報通信技術」、IT (Information Technology) の「情報」に「コミュニケーション」が加えられ、行政ではこの表現が一般的である。

【質問&答弁要旨】

- Q1：自治体のICT推進に伴い、区の職員育成の状況を問う。
- A1：外部機関での研修やICT知識を得るための内部研修を実施、職員のICTスキルアップ向上を図っている。
- Q2：IPA(独立行政法人情報処理推進機構)との包括協定では、費用負担無く人材育成支援を得られるが活用できないか？
- A2：外部機関との連携による情報化推進、ICT推進の研究も進めて行いく。
- Q3：区内の子ども達に対して、ITへの興味喚起推進の取組みは有効と考えるか？
- A3：関係部門と連携しながら検討していく。

●区民目線の危機管理とBCPの進捗について

【テーマ解説】

区政における危機とは円滑な区政運営や区民の安心安全を脅かす物事を危機と考えると多岐にわたるが、代表的なものとして防災・防犯対策があげられる。BCPとは「業務継続計画」すなわち、企業や自治体が災害時でも業務を継続させるよう予め決めておく計画をさす。ハザードマップとは自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図に明示したものである。パンデミックとは感染症や伝染病が世界的に流行することであるが、最近では新型インフルエンザが発生した際に起こるであろうと言われている。

【質問&答弁要旨】

- Q1：ゲリラ豪雨や多摩川決壊などの水害対策について区はどのように取組んでいるのか？
- A1：洪水時の影響範囲や豪雨時の車両水没の恐れのある箇所を示したハザードマップを作成し注意喚起を行っており、警報発表時など警察署とも連携しパトロール強化等を行うこととしている。
- Q2：パンデミックの際には区内でどれほどの医師が必要で、現時点でどれほどの協力が得られる見込みなのか？
- A2：ピーク時の1日の診療には41名の医師が必要と想定、医師会などの協力のもと今後さらに医療体制の整備を進める。
- Q3：世田谷区におけるBCPの進捗は？
- A3：国が策定した業務継続計画策定に関するガイドラインや、東京都策定中の「都政のBCP」の動向も踏まえつつ、区としての取組みを進めている。

今回の代表質問では上記6項目と以下9項目で幅広く質問しました。以下の詳細につきましては、ホームページに掲載していただく予定ですので、是非ご覧下さい。
<http://kazamayutaka.com/>

●区民が取組めるエコ活動推進について

●NPOの育成、支援、活用について

●区民ニーズに応じた高齢者福祉施策について

●出産時の自己負担分費用における自治体からの助成について

●ワークライフバランスの支援について

●保育園待機児解消に向けた具体策と保育園待機児家庭への支援について

●就学前教育の確立について

●小中学校の適正配置について

●総合学習時間削減の対応と教科日本語の見直しについて